

田人地区 地域おこし協力隊

9月号

ちーの山暮らし物語



野菜の販売

今まで住んだことがない東北の中山間地域で、今年から無農薬、無化学肥料で野菜を作っています。土作り、圃場準備、種まき、育苗、植え付け、除草などの作業をしています。田人の気候はこれまで住んでいた場所と違い、朝晩の寒暖差が大きい、野菜の発芽適期は少し遅れるなど、管理の仕方を田人の環境に合わせるように勉強しています。

地域の皆さんのおかげで、野菜を収穫し販売することができるようになりました！特に、大きくなっても柔らかく、とげのないオクラが大人気で、みそ汁に入れても、小鉢やサラダにしても美味しいものが出来ました。

七月二十一日の軽トラ朝市やひとたびで販売しています。また、ひとたびのメニューで使ってもらっています。野菜の販売をきっかけに様々な人との素敵な出会いも生まれました。

野菜を売ったお金は地域への貢献のため、地域振興協議会に入金しています。これからも、地域に貢献しながら、原価を超えるように頑張ります。

試食会

田人の野菜を使ったレシピを考え、田人のお店で提供できるようにすることを目標に試食会を行いました。

収穫できそうな野菜を主役と考え、かば焼き風ナス丼、台湾のインゲン豆餃子、小豆のミルクシェイクのレシピを考えました。自分の畑のナス、オクラ、インゲンと集落支援員さんから頂いた野菜やお米を使い、十五人分の食事を作りました。

今回は、野菜を作る為に色々お世話になっている方々をお招きして食べてもらい、アンケートを実施、料理についての感想や改善点をもらいました。アンケートは「美味しい、また食べたい」、「普通」、「もっと美味しくしてほしい」の選択肢で、全品が一番目の評価をもらいました。改善点については、評価が一番良かった小豆のミルクシェイクの甘さが好みにより調整できるように、餃子はニンニクを入れてみたらもっと美味しくなるなどのアドバイスをもらいました。これから、お店の方々と相談しながら、進めていきたいと思っています。今回、集落支援員さんや田人の皆さんののおかげで、試食会を無事に終了することができました。感謝の気持ちで、秋収穫も頑張ります。



自生わさび見学大冒険

三和地区の四回目のいわき伝統野菜教室全体計画に参加した後、地元の方、三和地区の協力隊、地域振興担当員と一緒に自生わさびの生育環境を見学に行きました。

三和に向かう時に通る道路沿いに神秘的な山に入る小径があり、地元の方はその小径を案内してくれました。苔、杉、砂利と岩石に覆われている道もない、山から出ている水路に沿って歩き、水源地の上まで登りました。

そこから下を覗くと、冷たい水が流れる砂地にわさびの株が生えていました。酷暑ですが、視野に入った範囲はほとんど緑です。虫の鳴き声、水の流れる音、涼しい風が吹いて幻想的な森林の中で、体や心も元氣になりました。

このような自然資源が中山間地域にあることに感謝し、大切に守って守っていかなければと思います。貴重な経験をいただき、ありがとうございました。



中国語ミニ教室

今日の単語は

シャウ バイ ツアイ

小白菜

訳: 山東菜(さんとうさい)